

## 2月といえば・・・??



社内で2月といえばなんですかね?と質問をしたところ、「針供養やね」と言われました。皆様は「針供養」ご存じでしょうか。

初めて聞いて「???'となっていたところ、「家で使っていた裁縫の針をお寺様に持っていき、豆腐にさして供養してもらうことよ!!」と教えてもらいました。気になったので早速調べてみました。

使えなくなった縫い針を供養する行事で、裁縫をしているうちに曲がったり、錆びたり、折れたりした針が対象とのことで、針への感謝や労り、裁縫の上達を願ってされているとの

ことでした。

近年では、裁縫をすること自体が減ってきているものの、針仕事をしている方や服飾関係、和裁・洋裁関係の教育機関や企業では今でも重要視されているとのことでした。

社内で「針供養ってしていますか?」と聞いたところ、ほとんどの社員がしていました。平成生まれの社員は同じように「???'となっていました。中には、「針治療の間違いでは・・・」という人もいました。裁縫を家ですることがなく昔ながらの風習も知らずに育ってきたのだと改めて感じました。他にも知らない風習がきっとあるので毎月、「〇月といえばなんですかね?」と聞いてみようと思います。



## はじめての・・・

昨年12月中旬の仕事のことです。倉庫にあるスチール棚の中段からダンボールに入った書類を下ろし、用事が終わったので、元に戻そうと屈んで持ち上げようとしたところ・・・

「ポキッ」(ん?何?私?えっ?・・・聞いたことのない乾いた音・・・気のせい・・・気のせい・・・)

気を取り直し、箱を元に戻し、自分の席へ帰り・・・、1時間位したころ電話を取るのに腕を伸ばすと、腹部に違和感が・・・その内、頭の中は「骨」「骨」「骨」の文字でいっぱいになる。

病院でレントゲンを撮ってもらうと、肋骨にヒビが・・・。明日くらいから、うんと痛くなるよ。まあ、1か月位したら痛みは治まってくるかなあと言われました。湿布しベルトで固定してもらいましたが、胸を張って歩くこともできず・・・背中にはずっしり負のオーラを背負ってしまいました。

年末の一大イベントである大掃除もできず、痛みからいかに逃れるかを習得する日々。それでも年は明け、回復も順調です。

今年は、40kgもの荷物を担ぐような無謀な事はせず、楚々とした感じで行こうかと思っています。



## 葬儀の現場より(あなたは自宅派?施設派?)

葬儀を担当させて頂く御当家から、入院先で亡くなった方が自宅に帰りたがっていた・・・というお話をよくお聞きします。

現在、病院などの施設で亡くなる方が約8割、自宅で亡くなる方が約2割となっております。

ですが、昔(戦前ぐらいに遡る)はこの割合が逆転していたようです。自宅で看取ることが当たり前の状況でしたので、昔は学校の教科書の中に「亡くなった方の自宅での看取り方」というような項目があったそうで、体の拭き方、綿の入れ方など・・・そういったことを学ぶために教科書に載っていたようです。

その後、昭和40年代には両方も同割合となり、やがて逆転して現在に至るようです。

今は病院などの施設で亡くなる方が大半なのですが、そんななか最近では介護や看護、そして最後を看取ってもらうのも自宅で・・・という方が少しずつですが増えてきているような気がします。



「自宅で看取りましたので、葬儀の打合せに自宅へ来て頂けますか?」

・・・というようなご連絡も頂くようになりました。私の勝手な予想ですが、今後は自宅で最期を看取ることが増えてくるのではないかと思います。

同じように葬儀に関しましても、昔は葬祭会館などの施設はなかったため、ほとんどの方々は自宅で葬儀を執り行っていました。

ですから、どんな自宅であろうとそこで葬儀が執り行われました。間取りの関係や玄関が狭くてどうしても棺が入らないところの自宅での葬儀は、棺を窓から入れて故人を納棺して通夜・葬儀を執り行い、終われば一度故人を柩から出して、棺を外に出してまた外で納棺をして火葬場へ出棺したこともあると上司に聞いたことがあります。

現在は、家の片付けや会葬者の対応が大変・駐車場がなくて近隣に迷惑を掛けるようなこともあり、葬祭会館などの施設が多数建設されるようになって、自宅以外での葬儀を執り行うことが主流となってきました。当社も自社会館での葬儀が割合のほとんどを占めるようになり、自宅での葬儀が少なくなってきております。

しかしながら現在でも、葬儀を出される御当家の中から「自宅から出してあげたい(自宅で葬儀をしたい)」・・・とお話しされる方がいらっしゃいます。これがまた意外と多いです。私の感覚ですが、申し出てくる方は70歳代以上の方が多いのでしょうか。口には出さないけど、このように思っている方々も大勢いるのではないかと思います。今は、葬儀に参列する方もほとんどいないので家族で葬儀を執り行いたいという方が増えてきました。だったら家から出してあげる?

・・・ひょっとしたら今後、また自宅での葬儀の割合が少しは増えてくるの・・・かもしれません。やっぱり皆さん自宅が好きなのかなあ～?と思う今日この頃です。



# お葬儀かわら版

第66号



Dreamer corporation 株式会社ドリーマー  
高知葬祭館  
〒780-0071高知市高埜11-24  
TEL:088-883-8611  
FAX:088-882-7827



Dreamer corporation 株式会社ドリーマー  
神田葬祭館  
〒780-8040高知市神田640-1  
TEL:088-856-5550  
FAX:088-856-5355